

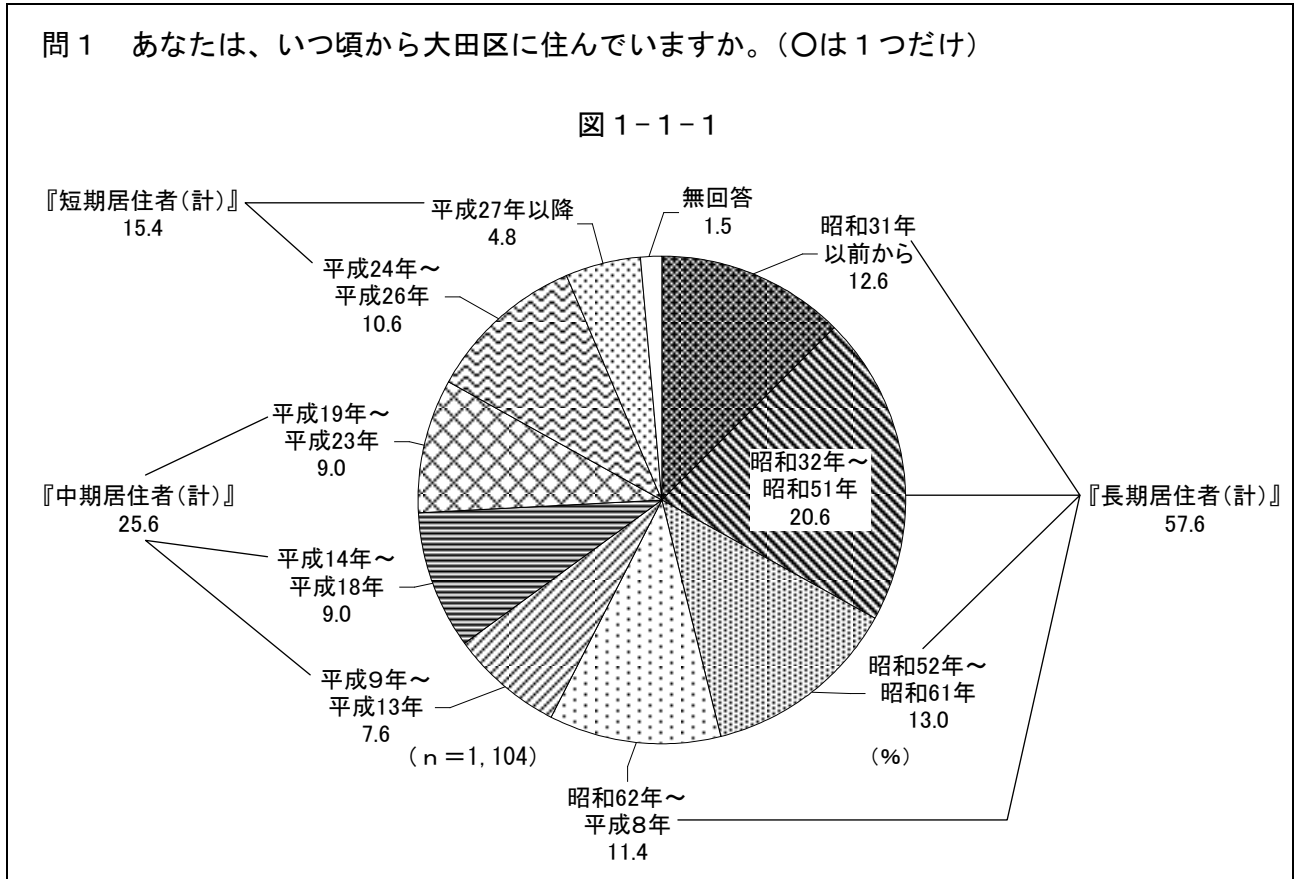
Ⅲ 調査結果の分析

Ⅲ 調査結果の分析

1. 定住性

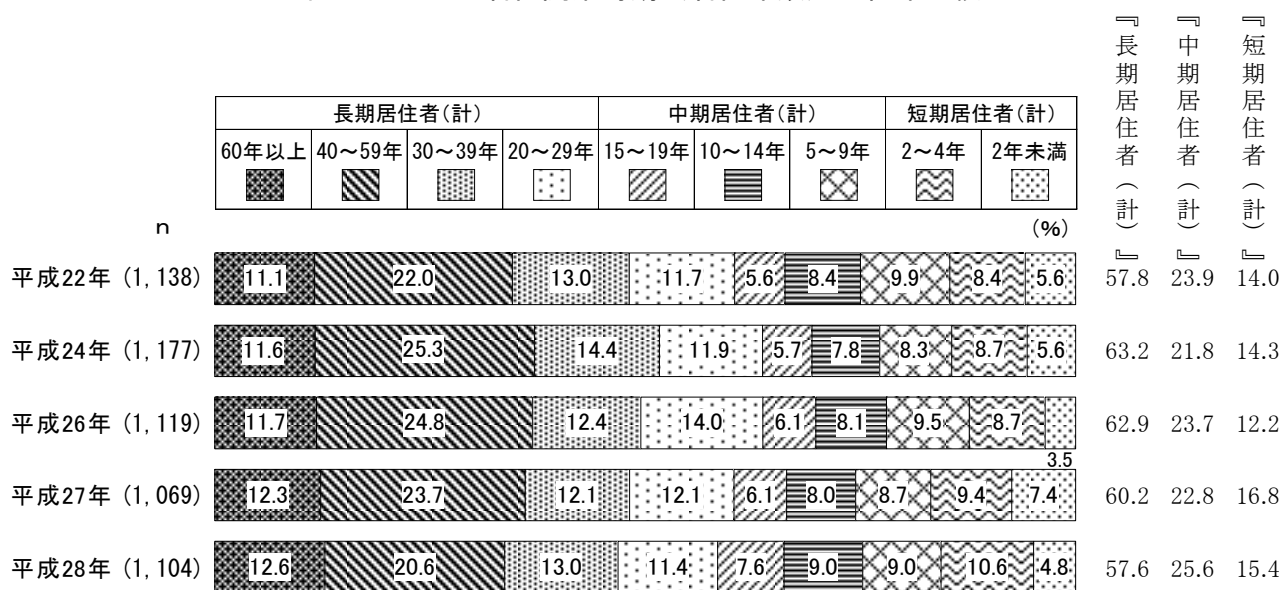
(1) 居住開始時期

◇「平成8年以前から住んでいる方」を表す『長期居住者（計）』は6割近く



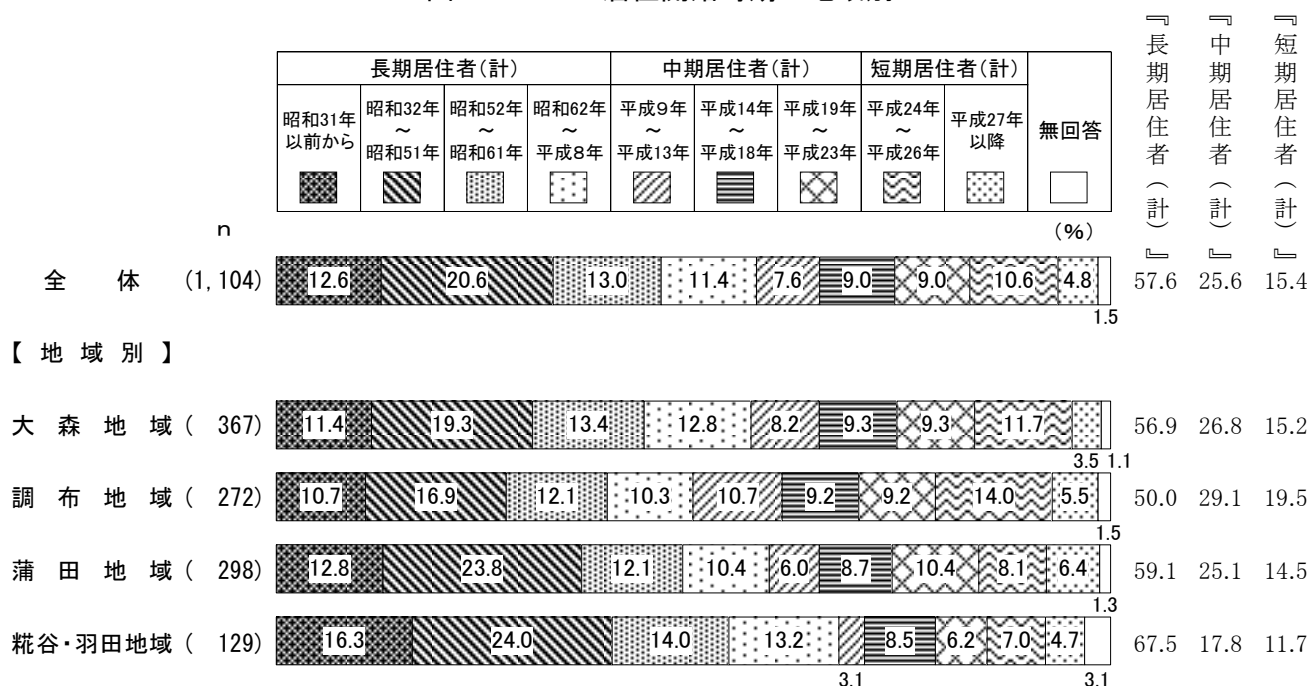
居住開始時期を聞いたところ、「昭和32年～昭和51年」(20.6%)が約2割で最も高く、これに「昭和31年以前から」(12.6%)、「昭和52年～昭和61年」(13.0%)、「昭和62年～平成8年」(11.4%)を合わせた『長期居住者(計)(居住年数20年以上)』(57.6%)は6割近くとなっている。「平成9年～平成13年」(7.6%)、「平成14年～平成18年」(9.0%)、「平成19年～平成23年」(9.0%)を合わせた『中期居住者(計)(居住年数5年以上20年未満)』(25.6%)は2割半ばで、「平成24年～平成26年」(10.6%)と「平成27年以降」(4.8%)を合わせた『短期居住者(計)(居住年数5年未満)』(15.4%)は1割半ばとなっている。(図1-1-1)

図 1-1-2 居住開始時期（居住年数）一経年比較



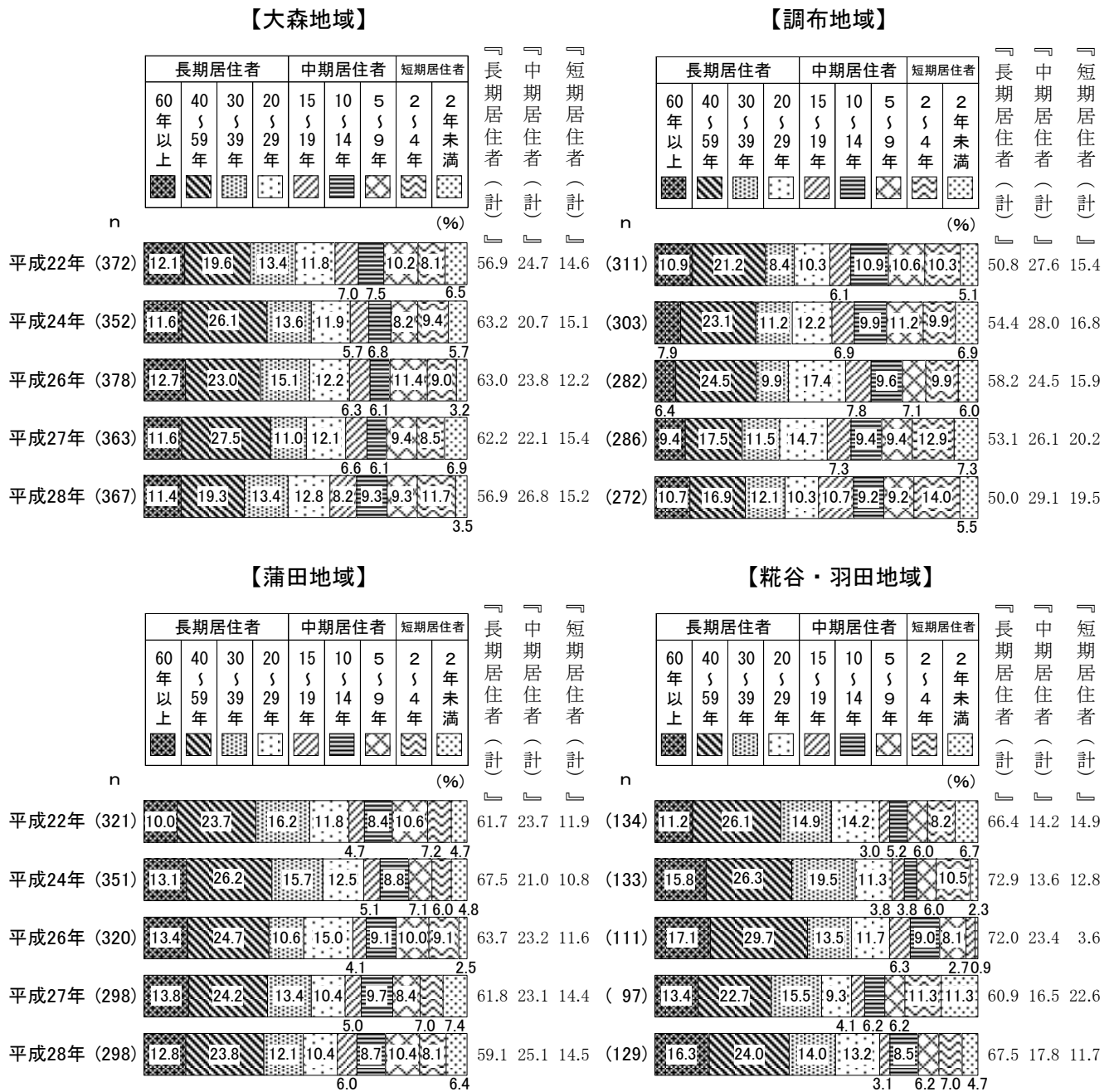
大田区への居住開始時期を居住年数に換算して経年比較をした。『長期居住者(計)』は平成24年以降減少傾向にあり、前回より2.6ポイント減少している。『中期居住者(計)』は前回より2.8ポイント増加している。(図1-1-2)

図 1-1-3 居住開始時期一地域別



地域別でみると、『長期居住者(計)』は糀谷・羽田地域(67.5%)で7割近くと高くなっている。『中期居住者(計)』は調布地域(29.1%)で約3割となっている。『短期居住者(計)』は調布地域(19.5%)で2割となっている。(図1-1-3)

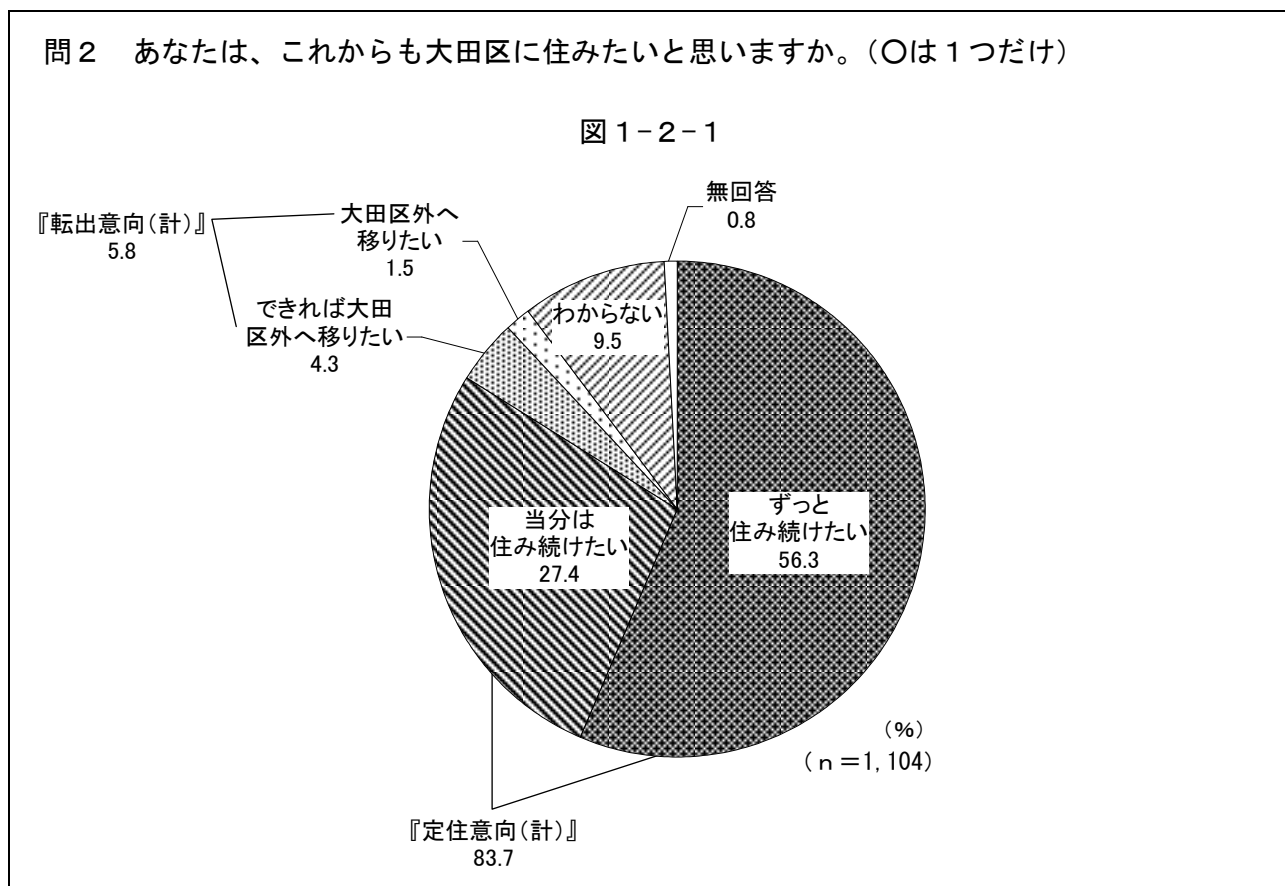
図1-1-4 居住開始時期（居住年数）一地域別（経年比較）



地域別で大田区への居住開始時期を居住年数に換算した経年比較をみると、蒲田地域では平成24年以降『長期居住者（計）』が減少傾向にある。また、調布地域では平成22年以降『長期居住者（計）』が他の地域と比べて最も低くなっている。（図1-1-4）

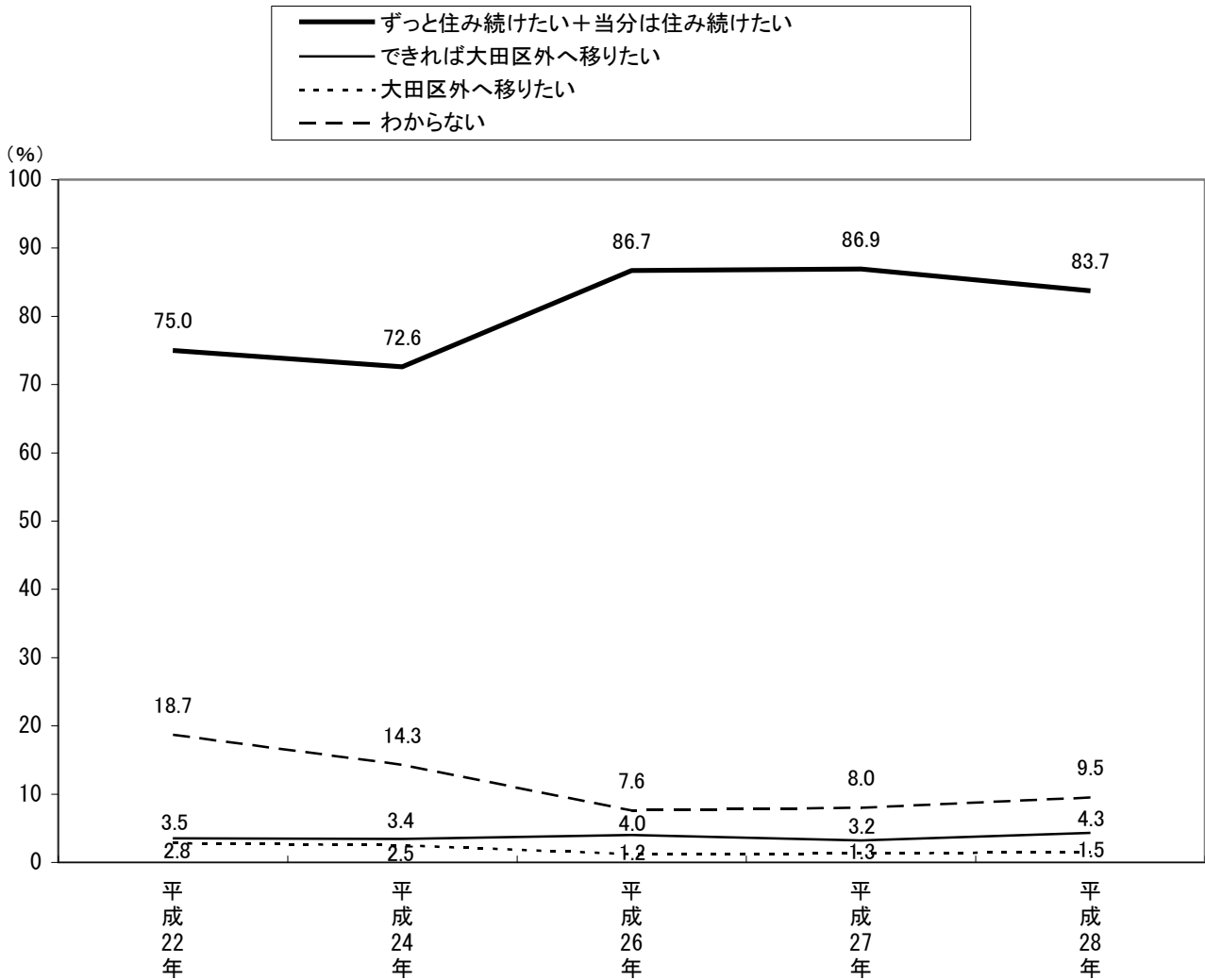
(2) 定住意向

◇「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合わせた『定住意向(計)』は8割を超える



定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けたい」(56.3%)が5割半ばで最も高く、これに「当分は住み続けたい」(27.4%)を合わせた『定住意向(計)』(83.7%)は8割を超えている。一方、「できれば大田区外へ移りたい」(4.3%)と「大田区外へ移りたい」(1.5%)を合わせた『転出意向(計)』(5.8%)はわずかとなっている。(図1-2-1)

図 1-2-2 定住意向一経年比較

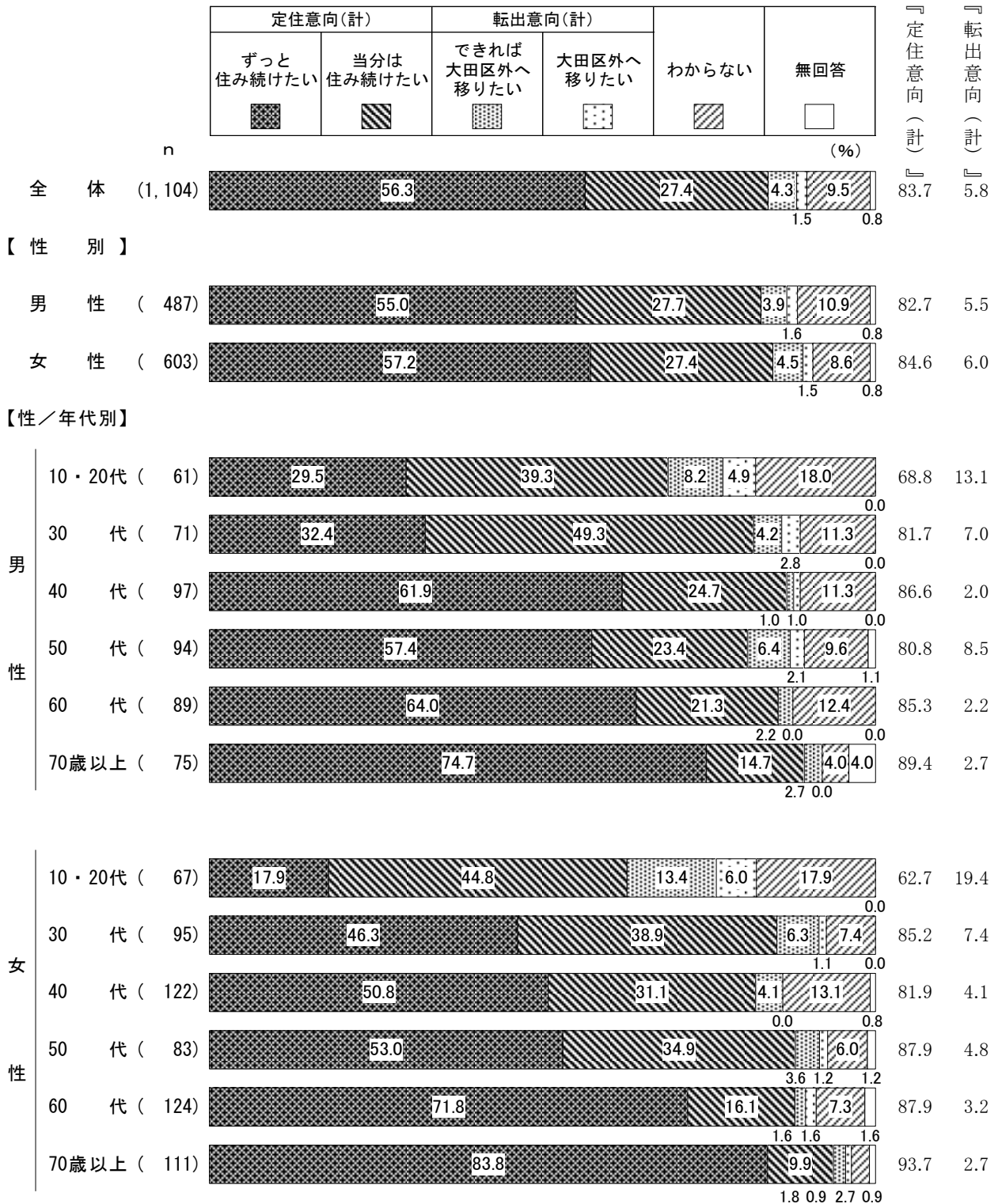


[※1]平成26年から選択肢を4肢[※2]から5肢へ変更したため、「ずっと住みたい」と「当分は住みたい」を合計し、平成24年以前の「これからも住みたい」と比較した。また、「できれば大田区外へ移りたい」は平成24年以前の「あまり長く住みたくない」と比較した。

[※2]平成24年以前の選択肢「これからも住みたい」「あまり長く住みたくない」「大田区外へ移りたい」「わからない」

経年比較をみると、今回調査と同じ選択肢で質問している平成26年以降、『定住意向（計）』は8割台で推移している。（図1-2-2）

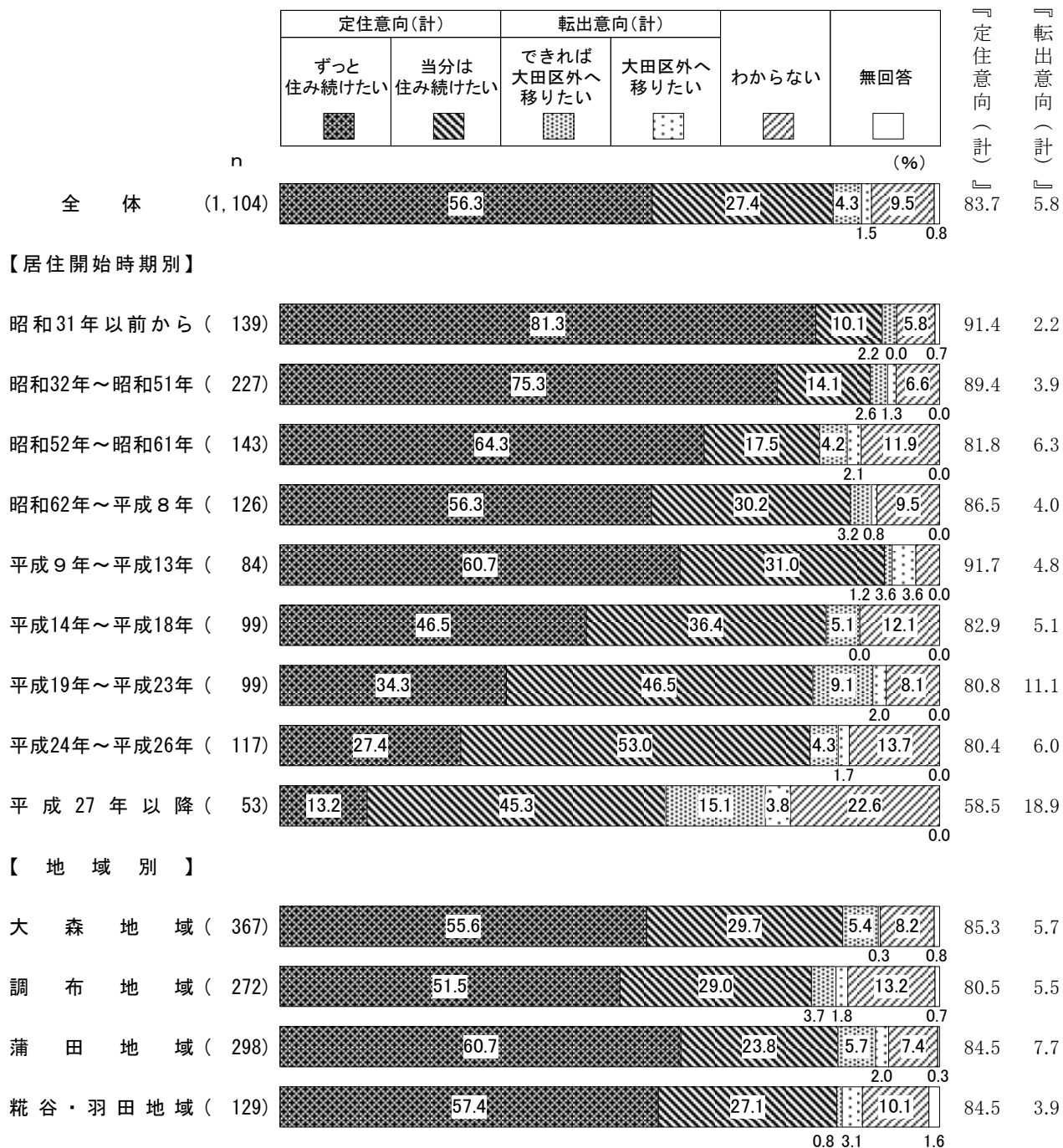
図 1-2-3 定住意向一性／年代別



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年代別でみると、「ずっと住み続けたい」は女性70歳以上（83.8%）で8割を超え、男性70歳以上（74.7%）で7割半ばと高くなっている。『定住意向（計）』は女性70歳以上（93.7%）で9割を超えて高くなっている。『転出意向（計）』は女性10・20代（19.4%）で約2割、男性10・20代（13.1%）で1割を超えているほかは、いずれも1割未満となっている。（図 1-2-3）

図 1-2-4 定住意向—居住開始時期別、地域別

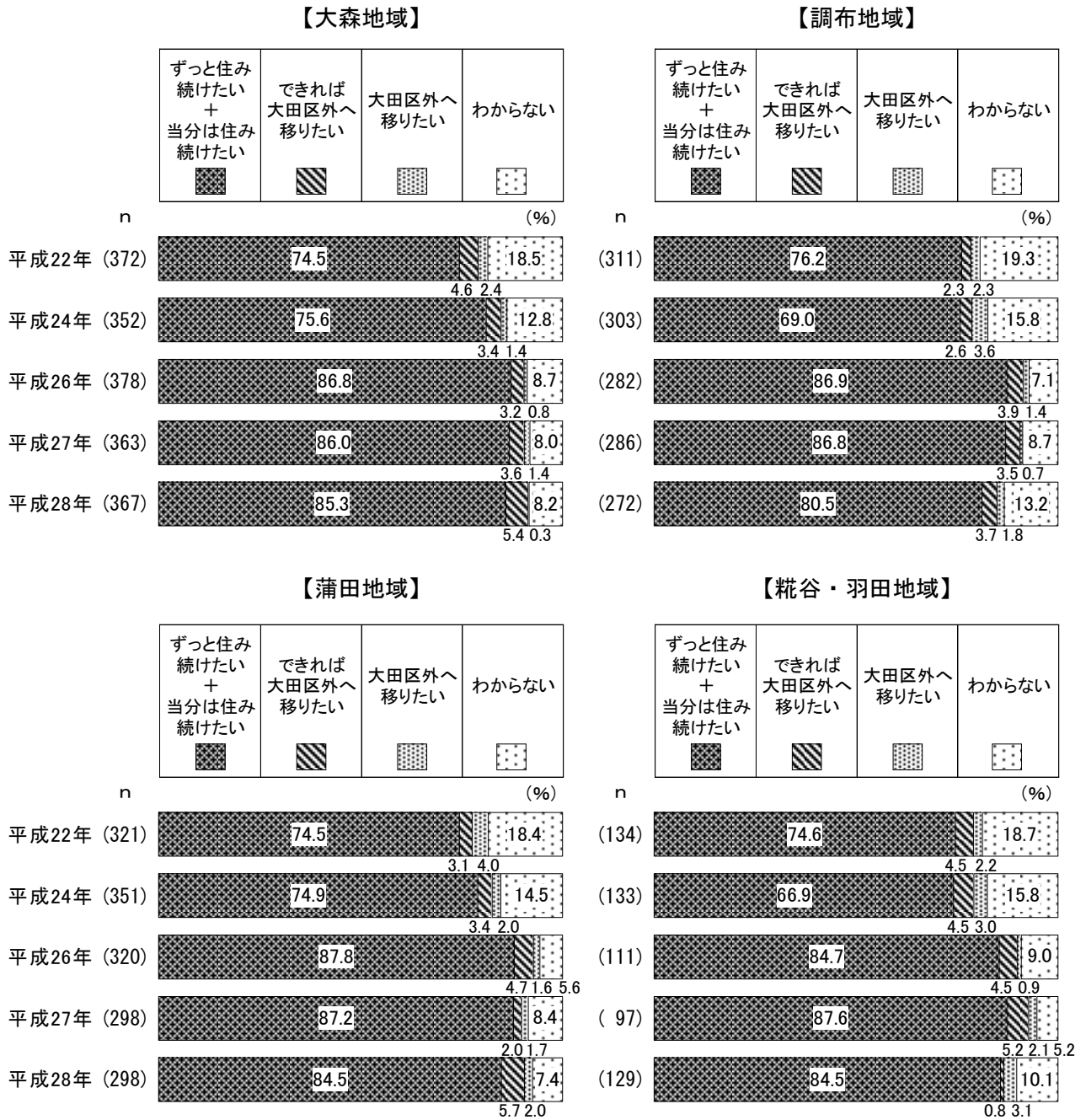


居住開始時期別で見ると、「ずっと住みたい」はおおむね居住年数が長くなるほど割合が高くなっており、「昭和31年以前から（居住年数60年以上）」（81.3%）で8割を超えている。『定住意向（計）』は「平成27年以降（居住年数2年未満）」（58.5%）で6割近くとなっているほかは、いずれも8割以上となっている。

地域別で見ると、「ずっと住みたい」は蒲田地域（60.7%）で約6割と高くなっている。

（図 1-2-4）

図 1-2-5 定住意向—地域別（経年比較）



【※1】平成26年から選択肢を4肢【※2】から5肢へ変更したため、「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合計し、平成24年以前の「これからも住みたい」と比較した。また、「できれば大田区外へ移りたい」は平成24年以前の「あまり長く住みたくない」と比較した。

【※2】平成24年以前の選択肢「これからも住みたい」「あまり長く住みたくない」「大田区外へ移りたい」「わからない」

地域別で経年比較をみると、今回調査と同じ選択肢で質問している平成26年以降、すべての地域で『定住意向（計）』は8割台で推移している。（図1-2-5）

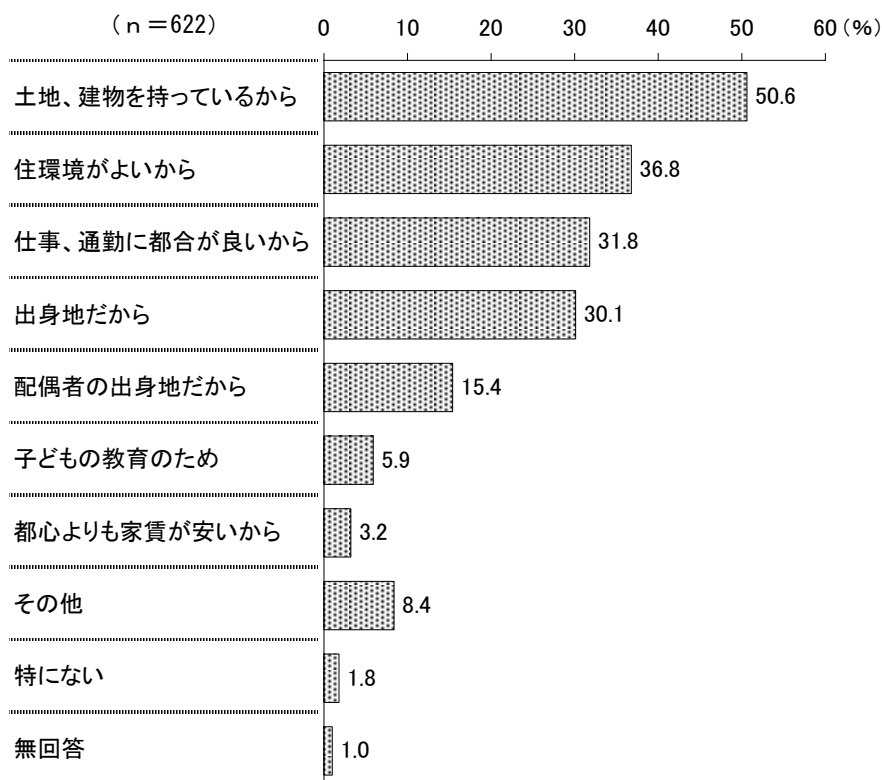
(3) ずっと住み続けたい理由

◇「土地、建物を持っているから」が約5割

(問2で、「ずっと住み続けたい」と回答した方に)

問2-1 「ずっと住み続けたい」理由は何ですか。(〇はいくつでも)

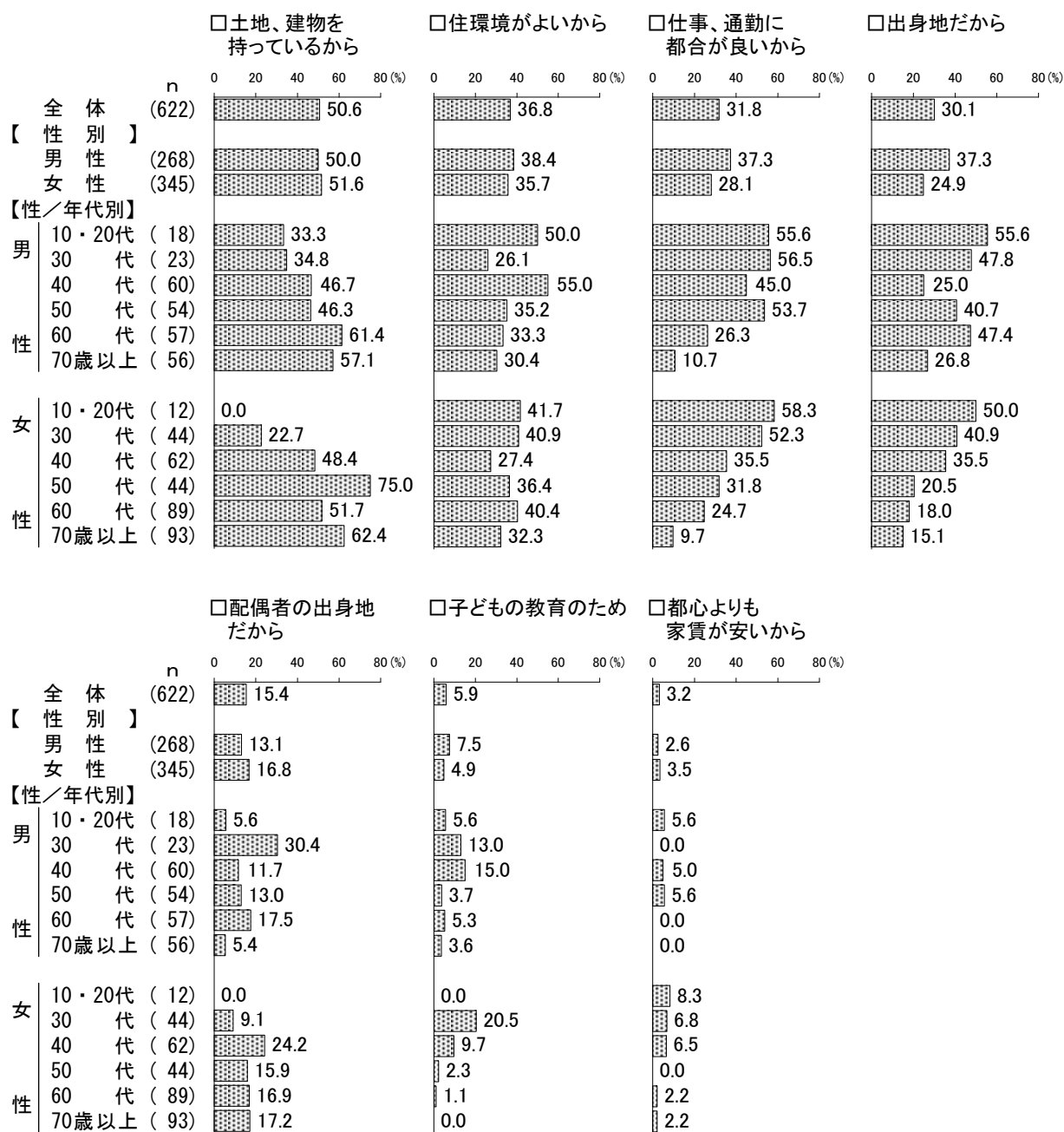
図1-3-1



これからも大田区に「ずっと住み続けたい」と答えた人(622人)に、その理由を聞いたところ、「土地、建物を持っているから」(50.6%)が約5割で最も高く、次いで「住環境がよいから」(36.8%)、「仕事、通勤に都合が良いから」(31.8%)、「出身地だから」(30.1%)、「配偶者の出身地だから」(15.4%)などの順となっている。

「その他」への回答として、「住み慣れている」、「交通の便が良い」、「近所づきあいが良い」、「親戚が近くに住んでいる」、「物価が安い」などがあげられている。(図1-3-1)

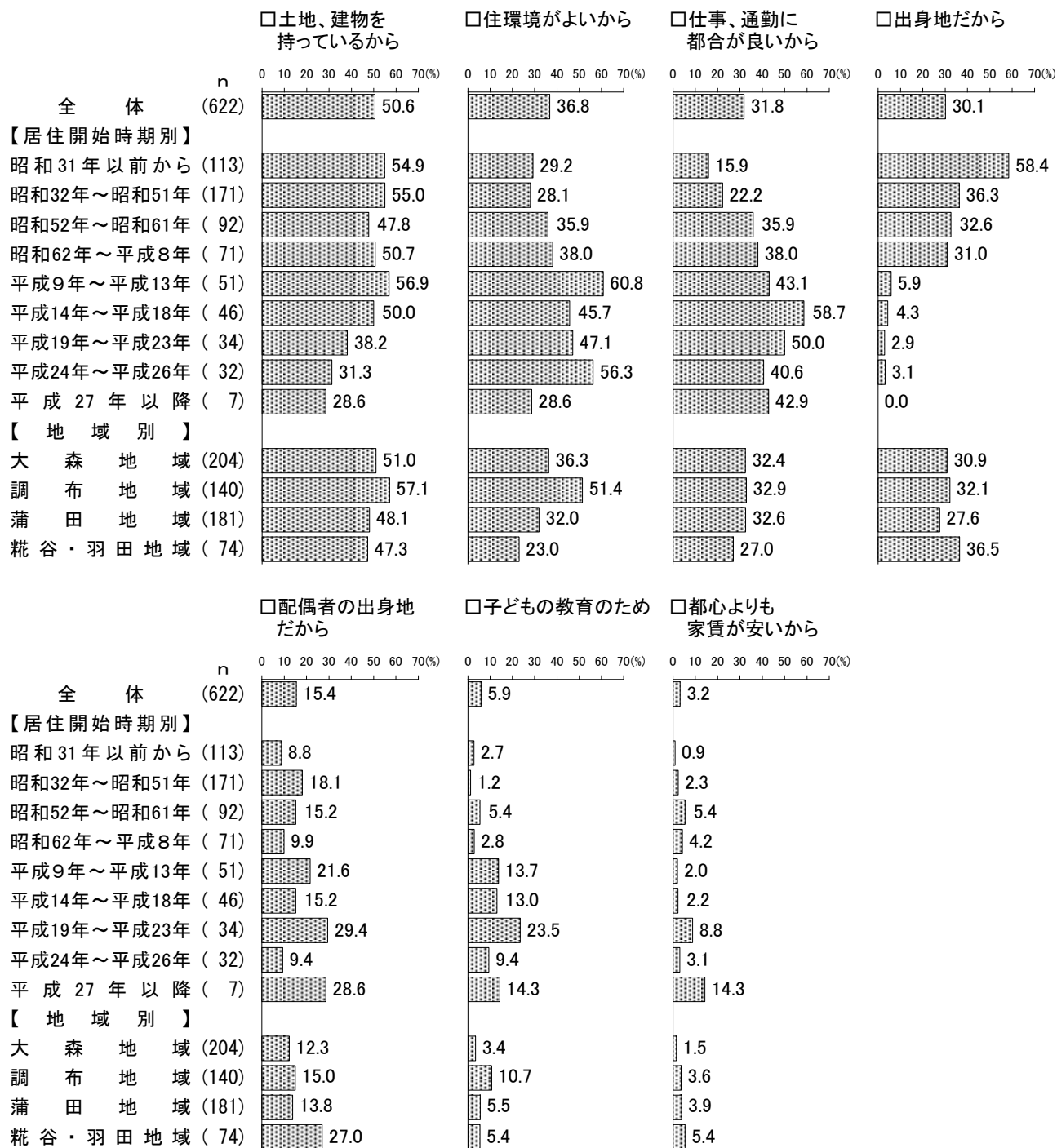
図 1-3-2 ずっと住み続けたい理由－性／年代別



性別でみると、「出身地だから」は男性（37.3%）が女性（24.9%）より12.4ポイント高くなっている。「仕事、通勤に都合が良いから」は男性（37.3%）が女性（28.1%）より9.2ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「土地、建物を持っているから」は女性50代（75.0%）で7割半ばと高くなっている。「仕事、通勤に都合が良いから」は男性30代（56.5%）と女性10・20代（58.3%）で6割近くと高くなっている。「出身地だから」は男性10・20代（55.6%）で5割半ばと高くなっている。（図1-3-2）

図1-3-3 ずっと住みたい理由—居住開始時期別、地域別



居住開始時期別で見ると、「住環境がよいから」は“平成9年～平成13年（居住年数15年以上20年未満）”（60.8%）で約6割と高くなっている。「仕事、通勤に都合が良いから」は“平成14年～平成18年（居住年数10年以上15年未満）”（58.7%）で6割近くと高くなっている。「出身地だから」は“昭和31年以前から（居住年数60年以上）”（58.4%）で6割近くと高くなっている。

地域別で見ると、「土地、建物を持っているから」は調布地域（57.1%）で6割近くと高くなっている。「住環境がよいから」は調布地域（51.4%）で5割を超えて高くなっている。「配偶者の出身地だから」は糀谷・羽田地域（27.0%）で3割近くと高くなっている。（図1-3-3）

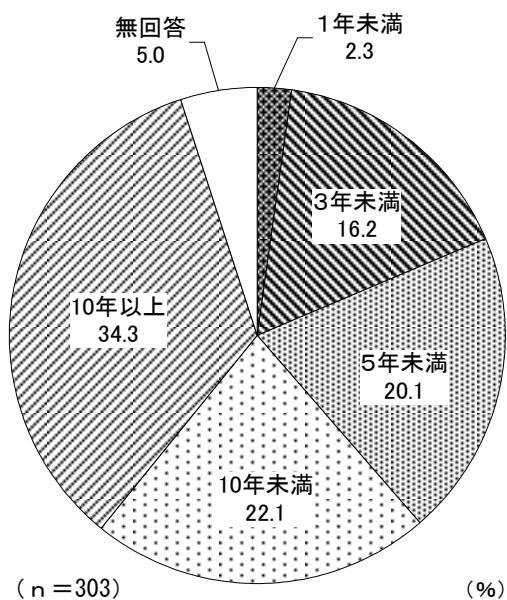
(4) 住み続けたい期間

◇「10年以上」が3割半ば

(問2で、「当分は住み続けたい」と回答した方に)

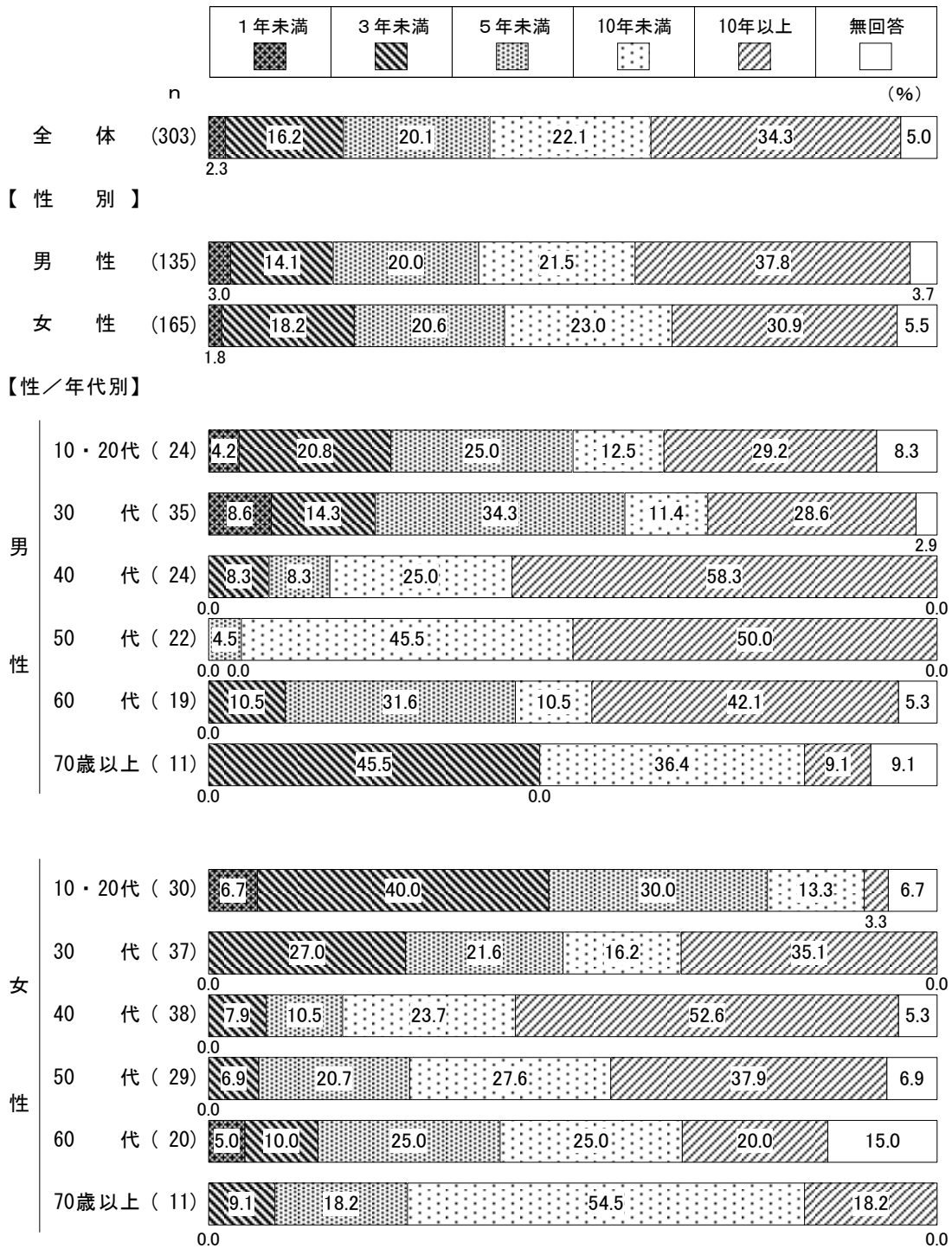
問2-2 「当分は住み続けたい」とはどのくらいの期間で理由は何ですか。(○は1つだけ)

図1-4-1



大田区に「当分は住み続けたい」と答えた人(303人)に、それはどのくらいの期間か聞いたところ、「10年以上」(34.3%)が3割半ばで最も高く、次いで「10年未満」(22.1%)、「5年未満」(20.1%)、「3年未満」(16.2%)などの順となっている。(図1-4-1)

図 1-4-2 住みたい期間—性／年代別



性別で見ると、「10年以上」は男性 (37.8%) が女性 (30.9%) より6.9ポイント高くなっている。
 性／年代別で見ると、「10年以上」は男性40代 (58.3%) で6割近く、女性40代 (52.6%) で5割を超えて高くなっている。「3年未満」は女性10・20代 (40.0%) で4割と高くなっている。

(図 1-4-2)

また、「当分は住み続けたい」と答えた理由については、251人から274件の回答があった。住み続けたい期間別に分類して整理した結果は以下のとおりである。

①「1年未満」と答えた理由（計7件）

- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 1件
- 進学のため…………… 1
- 出産のため…………… 1
- 結婚する、する予定があるから…………… 1
- 転勤の予定があるから…………… 1
- 実家や出身地に戻りたい、戻る予定があるから…………… 1
- 生活環境が変化するまで住み続けたい…………… 1

②「3年未満」と答えた理由（計41件）

- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 6件
- 結婚する、する予定があるため…………… 5
- 転勤の予定があるから…………… 4
- 家賃が高いから…………… 3
- 住みやすいから…………… 3
- 家族の介護や健康上の理由から…………… 3
- 現在の住まいに特に不満がないから、移転する理由が特にないから…………… 3
- 子どもの教育上の理由から…………… 2
- 賃貸住宅の更新時期まで住む予定だから…………… 2
- その他…………… 10

③「5年未満」と答えた理由（計53件）

- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 13件
- 転勤の予定があるから…………… 4
- 住みやすいから…………… 4
- 他の場所に住んでみたいから…………… 4
- ひとり暮らしを始めるため…………… 3
- 大田区出身だから、大田区に実家があるから…………… 2
- 土地、建物を持っているから…………… 2
- 子どもの教育上の理由から…………… 2
- 定年退職するまで現在の住まいで暮らしたい…………… 2
- 地震や災害への不安があるから…………… 2
- 交通の便が良いから…………… 2
- 現在の住まいに特に不満がないから、移転する理由が特にないから…………… 2
- 住宅を購入する予定があるから…………… 2
- その他…………… 9

④ 「10年未満」と答えた理由（計58件）

- 自分の健康上の理由から…………… 8件
- 子どもの教育上の理由から…………… 6
- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 4
- 土地、建物を持っているから…………… 4
- 親や子どもが住んでいる場所、または出身地に戻る予定があるから…………… 4
- 定年退職するまで現在の住まいで暮らしたい…………… 4
- 子育て環境のよいところに移転したいから…………… 3
- 転勤の予定があるから…………… 3
- 都会から離れて暮らしたいから…………… 3
- 住宅を購入する予定があるから…………… 3
- 家族の介護や健康上の理由から…………… 2
- 現在の住まいに特に不満がないから、移転する理由が特にないから…………… 2
- 住み慣れているから…………… 2
- その他…………… 10

⑤ 「10年以上」と答えた理由（計115件）

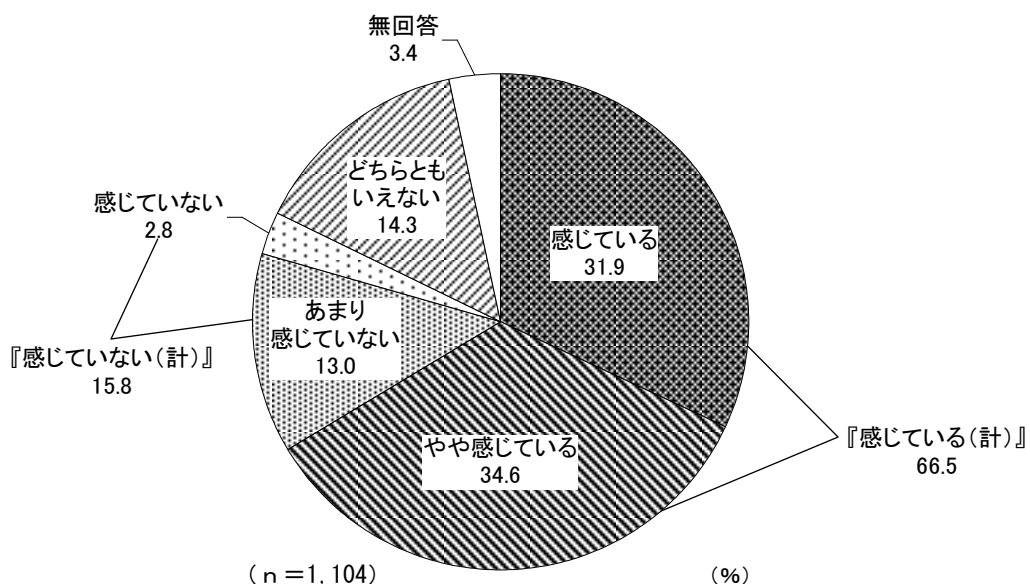
- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 13件
- 土地、建物を持っているから…………… 12
- 実家や出身地に戻りたい、戻る予定があるから…………… 10
- 自分の健康上の理由から…………… 10
- 現在の住まいに特に不満がないから、移転する理由が特にないから…………… 9
- 大田区出身だから、大田区に実家があるから…………… 7
- 子育て環境のよいところに移転したいから…………… 7
- 住みやすいから…………… 5
- 家族の介護や健康上の理由から…………… 5
- 人生の最後まで現在の住まいで住み続けたい…………… 5
- 都会から離れて暮らしたいから…………… 5
- 子どもの教育上の理由から…………… 3
- 交通の便が良いから…………… 3
- 物価が安いなど生活に便利だから…………… 3
- 長年住んでいるから…………… 3
- 住み慣れているから…………… 2
- 先祖代々住んでいるから…………… 2
- 子どもが独立するまで現在の住まいで暮らしたい…………… 2
- チャンスがあれば転職することを考えているから…………… 2
- 近所づきあいがよいから…………… 2
- その他…………… 5

(5) 住んでいるまちが魅力的か

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は7割近く

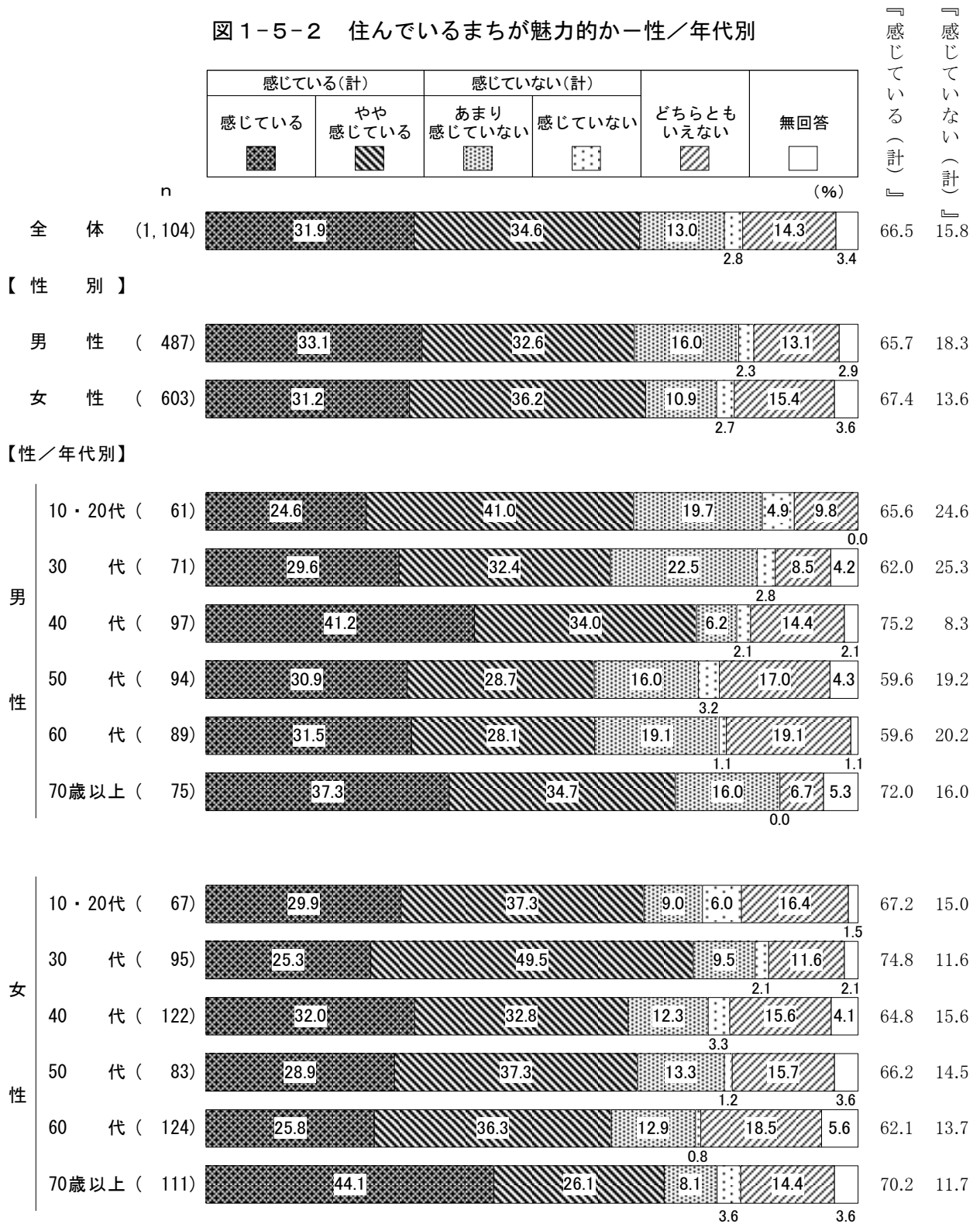
問3 あなたは、住んでいるまちが魅力的であると感じていますか。(○は1つだけ)

図1-5-1



住んでいるまちが魅力的であると感じているか聞いたところ、「やや感じている」(34.6%)が3割半ばで最も高く、これに「感じている」(31.9%)を合わせた『感じている(計)』(66.5%)は7割近くとなっている。一方、「あまり感じていない」(13.0%)と「感じていない」(2.8%)を合わせた『感じていない(計)』(15.8%)は1割半ばとなっている。(図1-5-1)

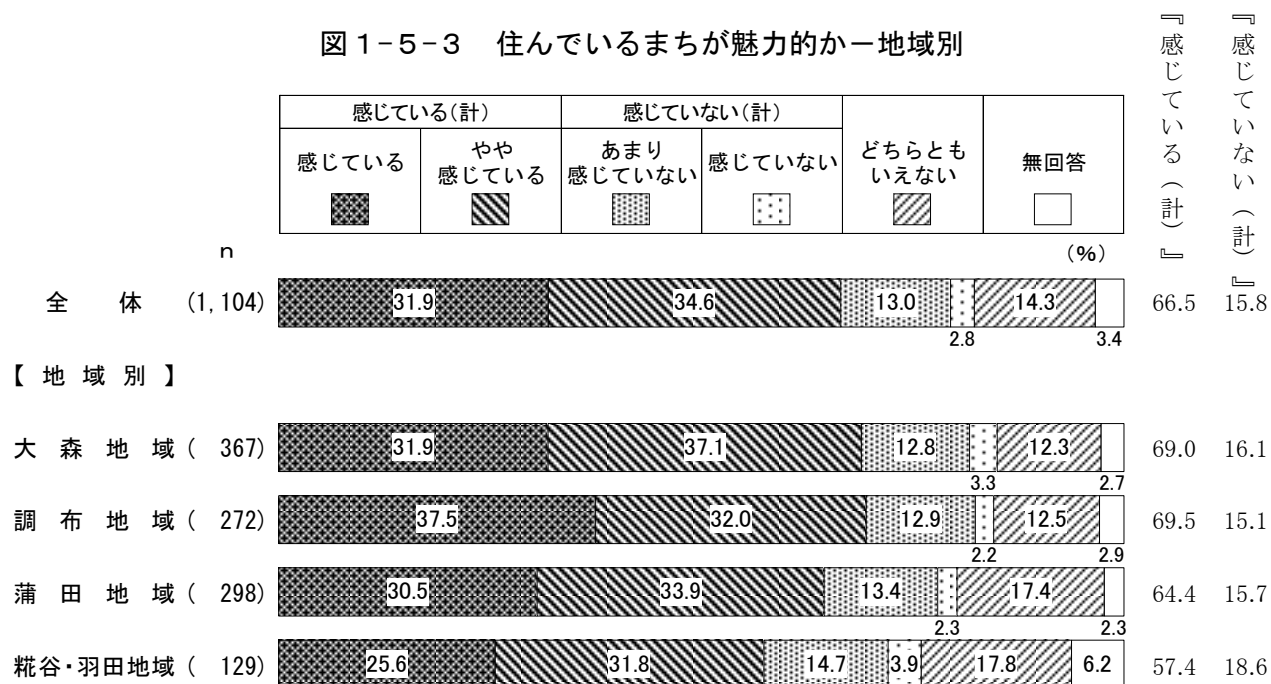
図 1-5-2 住んでいるまちが魅力的かー性／年代別



性別でみると、『感じていない(計)』は男性(18.3%)が女性(13.6%)より4.7ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『感じている(計)』は男性40代(75.2%)と女性30代(74.8%)で7割半ばと高くなっている。一方、『感じていない(計)』は男性10・20代(24.6%)と男性30代(25.3%)で2割半ばと高くなっている。(図1-5-2)

図 1-5-3 住んでいるまちが魅力的か—地域別



地域別でみると、『感じている(計)』は調布地域(69.5%)と大森地域(69.0%)で約7割と高くなっている。(図1-5-3)